



令和8年7月14日

奈良県田原本町

田原本町指定文化財の新指定について

町教育委員会では、町の歴史や文化を理解する上で重要となる文化財の指定を進めています。この度、町文化財保護審議会の答申を受け、下記文化財を町指定文化財に指定しました。

記

- 名称及び員数 ほんがくいんびょうおたまや 本覚院廟霊屋(平野家二代長勝廟)、にだいながかつ 廣徳院廟霊屋(平野家九代長発廟)、きゅうだいながゆき 平野家霊廟門、本誓寺山門 4棟
- 文化財種別 有形文化財(建造物)
- 所在地 奈良県磯城郡田原本町 582 番地
- 所有者 本誓寺
- 時代

本覚院廟霊屋(平野家二代長勝廟)	享保2(1717)年
廣徳院廟霊屋(平野家九代長発廟)	安政2(1855)年
平野家霊廟門	18 世紀前期
本誓寺山門	17 世紀後期
- 指定年月日 令和8年7月14日
- その他 詳細は別紙参照。
報道機関の皆様の現地取材については、文化振興課文化財活用係にて調整させていただきますので、ご希望される方は下記問い合わせ先にご連絡ください。

この件に関するお問い合わせ先:

教育委員会事務局 文化振興課文化財活用係 TEL 0744-32-4404

【報道資料】

(別紙)新指定文化財の概要

名称	左:廣徳院廟靈屋 (平野家九代長弼廟) 右:本覚院廟靈屋 (平野家二代長勝廟)	山門	靈廟門
写真			
構造形式	左:廣徳院廟靈屋 木造、方二間(正側面とも 2.85m)、宝形造、本瓦葺、切妻造向拝付き。 右:本覚院廟靈屋 木造、方二間(正側面とも 3.03m)、宝形造、本瓦葺、切妻造向拝付き。	木造、一間一戸薬医門、切妻、本瓦葺、南北袖塀付属、南袖塀潜戸。	木造、方一間、切妻造、妻入、本瓦葺。
時代	左:廣徳院廟靈屋 安政2年(1855) 右:本覚院廟靈屋 享保2年(1717)	17 世紀後期	18 世紀前期

本誓寺は、奈良県田原本寺内町にある浄土宗寺院で、鎌倉時代の創建とされます。1647 年、田原本領主・平野家が教行寺を退去させた後、現在地へ移転し菩提寺となりました。境内には、平野家二代長勝と九代長弼の靈廟があり、本覚院廟は 1717 年、廣徳院廟は 1855 年に建立されたことが棟札や鬼瓦の銘から読み取れます。

両靈屋は規模や形式を揃えながらも、廣徳院廟では意匠が簡素化されており、近世大名家靈廟建築の変遷を示す貴重な遺構です。また、靈廟門は、靈廟正面に建築された門を移築したもので、往時の靈廟構成を伝えています。山門は 17 世紀後期建立と推定される薬医門で、本誓寺移転当初の唯一の現存建築であり、田原本寺内町の歴史を伝える重要な建造物です。本堂などは火災と再建を繰り返し、現在の本堂は 1983 年に建て替えられました。これらの建造物群は、平野家の歴史や近世武家靈廟建築、田原本寺内町の形成と発展を伝える高い歴史的・建築的価値を有しています。